

日本共産党

高槻市議員

宮本 雄一郎

つうしん

発行：日本共産党高槻市議員団 宮本雄一郎
連絡先：議員団控室電話 072-674-7230
事務所：高槻市氷室町1丁目25-6 TEL 072-692-2758
自宅：高槻市氷室町2丁目14-2 TEL 072-695-1900



国保の広域化について（9月議会一般質問より）

来年度からの国保料、値下げも可能

国は来年度からの国保の広域化にあたって、当初、市町村が保険料負担を軽くするために行なっている一般会計から国保特別会計への繰入を「計画的に解消すべき」として

きました。これと一般会計からの繰入をあわせれば「保険料を値下げすることも可能ではないか」との質問に、市は「一般会計からの繰

入については今後示される（府による保険料の）試算結果や大阪府の国保運営方針の内容等を踏まえ慎重に検討する」と答弁しました。

一方で大阪府は国の動きに反して、一般会計からの繰入を認めないとしています。また、保険料の算定方法や減免制度を府下で一本化するとし、市町村から

保険料を決定する権限を奪おうとしています。高槻市はこれまで家族の人数が多い世帯の負担が少なくなるように、保険料を算定して

きました。また、中低所得世帯の保険料を市独自に減免していただきます。加入者の立場に立ちこれからの施策を無きものにする大阪府のやり方は大問題です。「大阪府言いなりではなく、市独自に判断を」と求めました。

大阪府は流木対策の強化を

「どこで起こってもおかしくない」

7月の九州北部豪雨では、大量の流木により、被害が拡大し、救

助のさまざまになりました。専門家は「このような被害はどこで起

こつてもおかしくないと指摘しています。9月議会で流木問題を取り上げるため

に、摂津峡のハイキングコースや檜田の山林を歩いて視察しましたが、大量の倒木や朽ち

果てた木があちこちに見られました。高槻市では、これまで大規模な流木被害は起きてい

町村に求めました。

また、国は国保特別会計の財政強化などを目的に、来年度から都道府県に1700億円の財政支援を行います。保険料負担を抑える財源として活用で



出灰の流木対策予定箇所

ます。府民税に300円上乗せする「森林環境税」を財源に流木対策などに取組んでいます。高槻市では、出灰、原

北部・南部、成合の4地域が予定箇所です。しかし、「森林環境税」による治山事業は4年間の限定事業で、2年後には終了します。「本

来は府が一般財源で必要な予算を計上すべき」と主張しました。また、流木を発生させない一番の対策は山の間伐に力を入れることです。府に治山事業の抜本的な強化を求めることも要望しました。

慢性腎臓病 (CKD) 対策を視察

(熊本市・呉市)

日本人の40歳以上の4人に1人は糖尿病、また、8人に1人が腎臓の働きが悪い状態が3ヶ月以上続く慢性腎臓病(CKD)とされています(日本腎臓学会調べ)。人工透析を受けている人は全国で約32万人にのぼります(日本透析医学会調べ)。CKDは心筋梗塞や脳梗塞による命の危険をまねきかねません。

熊本市、呉市では糖尿病・CKDの予防・早期発見、また病状の進行を抑える取り組みに力を入れています。11月6・7日、高槻市国保運営協議会による出張視察が行なわれ参加しました。

熊本市

熊本市では、まず市の担当者が熊本市市民病院の腎臓専門医や糖尿病専門医、医師会の特定健診担当理事などを訪問し、CKD対策について意見の聞き取りを行いました。その結果を受け、腎臓が健全に働いているかを示す「eGFR値」が特定健診の結果通知に記載されるようになりました(高槻市は未記載)。

また、PTAバザーなどのイベントでボランティア医師などの協

力のもと、働き盛りの世代をターゲットに簡易血糖検査を実施しています。

かかりつけ医と専門医の連携強化

さらに予防、病状の進行を抑えるために、患者にとって身近な「かかりつけ医」と腎臓専門医との連携を強化しています。市独自に「かかりつけ医」から専門医への紹介基準と紹介状を作成、紹介を受けた専門医は「かかりつけ医」に治療方

針を伝えます。「かかりつけ医」はその方針に基づいて専門医と連携して患者を治療します。

また、県栄養士会の協力により、管理栄養士がいなかかりつけ医療機関でも栄養士による指導が受けられます。

大きな効果が医療費削減も

熊本市ではこれらの取り組みの結果、年間の人工透析開始者が2009年時点は295人でしたが、2015年には228人に減少しました。透析開始平均年齢も同じく66・74歳から67・34歳へ遅らせることができました。また、医療費(人工透析の費用)の削減効果額は14億5000万円と試算しています。

呉市

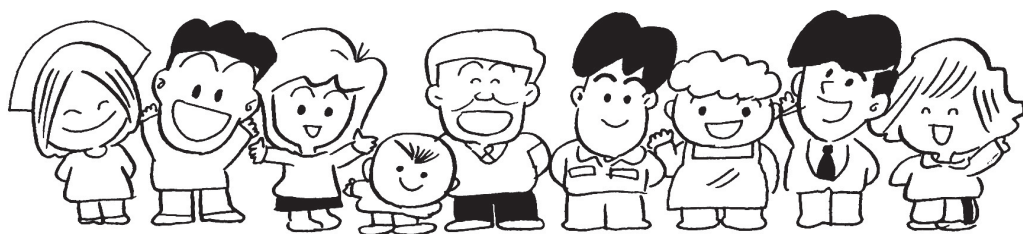
呉市では国保加入者の特定健診の結果と診療報酬明細書(患者がどのような診療を受けたかが表記されている)から糖尿病患者やCKD患者を抽出し、治療だけでなく、栄養士による6カ月間の集団教室・面談や電話による指導を行っています。また、指導終了後も6カ月ごとに体調の状況などの経過を追っています。CKD患者とその家族で結成された「呉そらまめ連絡会」が指導終了者への情報提供や研修会を実施しています。

状態が維持・改善しました。また、CKDの重症度も89・7%の人が維持改善しました。国保加入者の人工透析開始者も2010年度時点では26人でしたが2015年度には16人に減少しました。

病状が

維持・改善

栄養士の指導を受けた人の96・6%が血糖



高槻市議会ホームページで議案や各党派・議員の賛否がご覧いただけます。

高槻市議会

検索

宮本雄一郎 ～市政相談会～

とき 毎月第3土曜日 午後2時～4時

ところ 水室町1丁目25-6 ☎072-695-1900

この日以外でもお気軽にご相談ください

